

第8回「雪の学習」研究会

主催者名： 北海道教育大学・北海道雪プロジェクト・札幌市立新琴似緑小学校・北海道教育大学教育学部附属札幌小学校

後援者名： 北海道教育委員会 札幌市教育委員会

実施日時： 2010年1月22日（金） 13:15～16:50

実施場所： 札幌市立新琴似緑小学校

参加者数： 121名

概要：(a)『公開授業 新琴似緑小の雪の学び発信』では、5年生外国語活動「雪遊びをCMで紹介しよう」（吉野貴宏教諭）、6年生総合的な学習の時間「雪の街札幌・プレゼンテーションについて」（杉原正樹教諭）を行った。前者は、ゲームを通して、雪遊びに関係する英語表現に慣れ親しみ、雪遊びのCM作りに取り組むというもの。後者は、冬の札幌の観光資源を調べ、町の魅力を発表しようというもの。授業後、解説・討論を行った。『雪プロからの提案 すぐにできる！雪の実践』では、制作した授業プラン集の解説や、テキストやワークシートを使った授業の展開法を示した。また、昨年度までの実践例を紹介した。『交流タイム 各校のさまざまな取り組みは・・・』では、体育や生活科などでの取り組みが紹介された。

(b)事後アンケートによれば、研究会の満足度は5段階評価で4.3と好評だった。また、取り上げた内容を授業でやってみたいかも4.3で、除雪や英語、雪の結晶などが挙げられていた。しかし、雪や寒さの実践がこれまでに行われているところが半数弱、Webページ「北海道雪たんけん館」を見たことがない方がまだ1/4で、更に普及を図っていく必要がある。

参加者感想例：

- ・「授業の実践だけでなく、これから「雪」の学習を進めていくにあたって、すぐに使えるような資料が盛りだくさんでためになった」
- ・「先生方の熱い思いがよく伝わってきました。以前から興味がありながら参加する機会がありませんでしたが、今年参加できて良かったと思います。雪の少ない釧路ですが、何らかの形で実践できたらと思っています。」
- ・「プラン集、テキストなどは、すぐに使ってみたい。実際に3学期、雪の総合を学習したいと思っていたので」
- ・「やってみたいのですが、生活・総合などでやるのが学級としてすでに決まっているので取り入れにくい。学年（3～4クラスあります）の了解を得るのがむずかしい→これもワークシートやテキストができてきたので追い風になります」